

平成22年5月7日 玉川ダム管理所の洪水対応 ～低気圧の降雨による融雪出水～

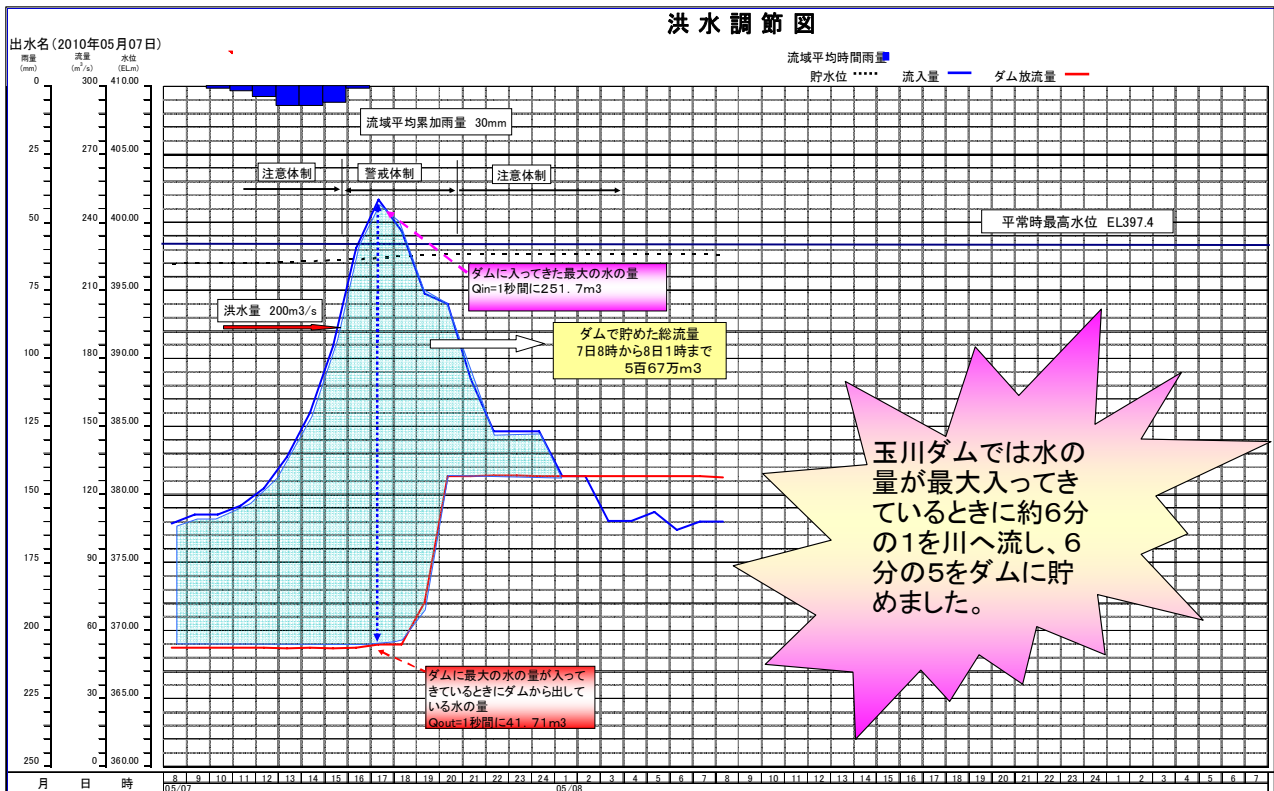
平成22年5月7日の低気圧の降雨の影響に伴う融雪出水により、玉川ダムでは洪水調節を行いました。

雨は7日9時頃から降り始め、玉川ダム流域の平均累加雨量は30mmとなり、7日16時22分には、ダムへ水の量が最大で1秒間に約251.7m³入ってきました。この時に玉川ダムでは、1秒間に約41.7m³の水を流すことで、**入ってくる水の量の約6分の1**を下流の川へ流しました。

今回の洪水で玉川ダムの水の貯めた総流量は、7日8時～8日1時までの間で**約567万m³**の水を貯めたこととなります。

<東京ドームに換算すると約5個分、25mプールに換算すると約2万2千700杯分を貯めたこととなります。>

玉川ダムの洪水調節により、下流の河川への影響を低減させることとなりました。



融雪洪水のため玉川ダムでは、7日8時30分から8日0時30分までの間、降雨の予測に基づきダムへ入ってくる水の量の予測や下流の河川を考えたダムから放流する水の量の検討・操作を行い、また、ダム貯水位維持のための対応を行うため、関係する機関との情報交換をして、適切なダム管理を行ってきました。